

令和4年度指定管理者評価シート

1 管理運営の状況等

(1)施設名	さいたま市大宮ソニック市民ホール
(2)施設概要	<p>①所在地 さいたま市大宮区桜木町1丁目7番地5 ソニックシティビル4階</p> <p>②施設の設置目的 市民文化の向上及び市民相互の交流を促進する</p> <p>③施設の概要 開設/昭和63年4月8日 構造等/(ソニックシティビル全体)鉄筋コンクリート造地上31階 地下4階 面積/(ソニックシティビル全体)敷地面積 7582.92㎡ (市民ホールのみ) 延床面積 814.76㎡ 集会室/ 第1・第4集会室(401・404) 各171.00㎡(定員 90席) 第2・第3集会室(402・403) 各185.00㎡(定員 111席) 第1集会室から第4集会室まで連結して使用可能</p>
(3)指定管理者	公益財団法人埼玉県産業文化センター
(4)指定期間、指定管理料	<p>①指定期間 平成31年4月1日～令和6年3月31日</p> <p>②指定管理料 指定期間中の利用料金収入の見込みが管理運営経費を超えるため、指定管理料はなし。</p>
(5)施設の管理運営の内容	<p>①運営業務の状況(利用状況含む)</p> <p>◇利用状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用件数 2,493件(前年度 2,070件)</li> <li>・稼働率 84.0%(前年度 69.6%)</li> </ul> <p>◇業務実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の利用受付及び利用に関する打合せ</li> <li>・施設利用時の設備・備品の貸出しとセッティング</li> <li>・施設利用時の空調設備等の稼働</li> <li>・インフォメーションコーナーでの催事案内</li> <li>・ホームページ等による利用促進案内</li> </ul> <p>②維持管理業務の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・設備の点検、清掃、警備、修繕、防災業務</li> </ul> <p>③その他の業務</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・イベント企画</li> <li>・“BONSAI”の町 ミニ盆栽教室 (R3年度延期分)</li> <li>・『～心も体も健康に～大宮アルディージャ インドア・スポーツフェスタ』in ソニックシティ</li> <li>・てっばく出張! 楽しく学ぶ『鉄道の歴史とクラフト体験』</li> <li>・“BONSAI”の町 ミニ盆栽教室</li> </ul>
(6)収支状況	<p>①収入</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用料金収入 34,603千円(前年度 28,052千円)</li> </ul> <p>②支出</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人件費 10,333千円(前年度 10,100千円)</li> <li>・事務費 1,566千円(前年度 1,728千円)</li> <li>・施設管理費 10,205千円(前年度 9,594千円)</li> </ul> <p>③納付金 14,600千円(前年度 6,080千円)</p> <p>【自主事業】</p> <p>①収入 0円(前年度 0円) ※参加費無料のため</p> <p>②支出 987千円(前年度 449千円)</p> <p>※“BONSAI”の町 ミニ盆栽教室(R3年度延期分)257千円を含む</p>
(7)利用者アンケート等による市民からの意見・要望等への対応	飲食、清掃状況にかかわる改善要望が寄せられたため、各業者と連携し改善に向けて検討中。
(8)その他	—

## 2 提案内容の達成状況

(指定管理者から提案のあった項目の達成状況)

提案内容	達成状況
さいたま市の地域資源を活用した事業の実施	さいたま市が有している歴史伝統文化などの資源を活用し、地域で活動する団体と連携した事業を実施した。鉄道博物館と協働した「てっばく出張！楽しく学ぶ『鉄道の歴史とクラフト体験』」では、前年度よりも参加者が増加した。新型コロナウイルス感染症の影響が残る中ではあったが、感染症対策を十分にしながら、地域文化の振興や市民相互の交流を図ることができた。
ホームページやSNS等を活用した継続的な情報発信	ホームページにおいて感染症対策のページを随時更新したほか、TwitterやYouTubeで催事情報等について市民向けに広く発信し、利用促進に努めた。

## 3 評価

(1) 指定管理者による評価

令和元年度からの指定管理期間の4年目として、利用者ニーズを把握しながら施設運営にあたり、安心安全な利用環境の提供を念頭に施設の運営及び事業の実施にあたった。  
令和4年度は、令和元年度末から続くコロナ禍の影響が残ったが、過去2年度と比べると利用率・利用料金ともに回復傾向にある。  
令和5年度は、現指定管理期間の最終年度にあたるが、引き続き安心安全を第一に、利用者サービスの向上に努めていきたい。

(2) さいたま市の評価(評価担当課: 市民局市民生活部市民生活安全課)

総合評価 (B) ※A~D

### 1 項目別の評価

①市民の平等利用、市民サービスの向上、利用促進については、コロナ禍での利用者ニーズを把握し、十分な感染症対策を実施するとともに継続的に情報発信を行うことで、利用者が安心して利用できるような環境整備に努めた。その結果、利用状況、利用収入ともに前年度を大幅に上回った。

②経費の削減については、デジタル化を促進しペーパーレスに取り組むことで、印刷製本費及び消耗品費の削減に努めた。

③適正な管理運営の確保については、全職員を対象に、業務に必要な知識や技術を習得するための研修及び利用者安全確保のための訓練を多数実施し、職員の資質向上を図った。また、必要な修繕を適切に実施した。

### 2 総合評価

上記のとおり、各項目について、市が求める水準を満たしていることから総合評価をBとした。

(3) 来年度の管理運営に対する指導事項等

引き続き、接客対応に対する高い評価を維持できるよう、取り組んでいただきたい。  
感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律において、新型コロナウイルス感染症の位置付けが5類へと引き下げられたことに伴い、今後、経済活動等が更に活性化されることが見込まれるため、需要等を適切に把握し、利用率の向上に資する新たな取組等の検討・実施に努めていただきたい。